

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム団欒

## 目標達成計画

作成日: 令和5年10月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	当事業所の身体拘束状況は「玄関の施錠」をご家族の同意の上で行っている。玄関掃除の時間に定期的な開放を行っているが今後は「玄関の施錠」廃止に向けて取り組む。	定期的な玄関の開放だけではなく、玄関にセンサーを設置して「玄関の施錠」を取りやめる。	入居者が玄関に近づいたらセンサーがなるように設置し、センサーが作動したら職員は迅速に声掛け誘導を行う。	3ヶ月
2	33	現在、2名の看取りケアを行っている。看取りされる入居者様の立場に立ったケアを職員全体で行う。	定期的に看取りについての勉強会を開き、職員全体が同じ方向性で看取りのケアを行い、入居者様に最後まで自分らしく生活して頂く。	看取りケアの勉強会、会議を定期手に行いお一人お一人の気持ちに寄り添った方針を決め、看取りケアの統一を図る。	3ヶ月
3	35	消防避難訓練は年に2回行っているが自然災害の避難訓練が開催されていない。	自然災害マニュアルに基づき、シュミレーションを行う。	自然災害時の避難経路の確認や避難訓練を実施する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。